

令和4年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

3年

教科	指導上の課題の分析	授業改善の具体的な方策	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字テストで到達率80%以下の児童が約15%おり、漢字の定着に差が出てきた。 ○読むことでは、ワークテストの学年平均が9割を超えている。 ○書くことについては、抵抗をもつ児童が多い。また、文章構成が定着していない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習した漢字を使うようにするとともに、定期的に漢字テストに取り組むことで、漢字の定着を図る。また、漢字を使ったミニゲームなどで漢字に親しむ機会をつくる。 ○物語では、正しい言葉の意味を理解するために意味調べをする。 ○週末に日記を課題にし、書くことを習慣づける。また、授業では例を示して、構成を意識できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読むことの到達度 85%以上となっている。自分の意見を発表することができる児童とできない児童の差がある。 ・漢字の定着に差がある。(到達度 30%～100%)
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の意欲が高いが、資料から必要な情報を集めて読み取ることに課題が見られる。 (到達率 学年平均88%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を扱う活動を通して、必要な情報を読み取れることができるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の知識としての定着度は高い。 ・思考力や表現力を働かせる場面での活用力に差がある。特に、資料の読み取りを苦手としている。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の意欲が高く、ワークテストでも平均90%以上と高い。自分で問題を見付けることを苦手とする児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら問題を見いだすことができるように、物事の差異点や共通点に着目できるよう比較したり、仲間分けしたりするような活動を行う。また、実験の結果を友達と共有して、話し合う機会を取り入れることで自分の考えをもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験に取り組む意欲は高い。 ・自分の意見を書いたり予想を立てたり、事象からの問いを見出したりする力が弱い傾向にある。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しんで体を動かすことができている。しかし、体育の授業以外の運動経験が少ない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボールを使った運動や器械運動などさまざまな種類の運動を行い、適切な体の使い方を身につけ、運動の楽しさに気付けるようにする。体力の向上を図れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む意欲に大きな差がある。意欲的な児童が大半を占める一方、意欲的でない児童も少数いる。

総合	<p>○学習課題のを見つけ方や調べ方、まとめ方について示し、行ったがまだ身についてはいない。</p>	<p>○引き続き、課題を設定して、調べ、まとめる活動を行う。</p> <p>○オクリンクに文字入力や画像、イラスト等を挿入する活動を通じて、様々な方法でまとめることができるようにする。</p> <p>○調べ学習によるいくつかの課題を設定し、検索エンジンを使って調べ、まとめたり発表したりできるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動できるが、まとめることや自分の意見をもつことに課題が見られる。 ・パソコンの操作速度に個人差がある。
----	--	--	--